

## 膵癌化学療法といかに向き合うか

— 副作用マネジメントから最新のエビデンスまで —

膵癌化学療法はFOLFIRINOX療法やゲムシタビン+ナブパクリタキセル療法の登場で急速に進歩している。一方で、多くの副作用が出現し、その対策の重要度も増している。副作用マネジメントのコツとともに、周術期治療、高齢者への考え方を説明する。また、がんゲノム医療の時代となり、膵癌にどのようにがんゲノム診療を応用していくのか、最近の流れを紹介する。

神奈川県立がんセンター  
消化器内科（肝胆膵） 医長

**講師 上野 誠 先生**  
(うえの まこと)

### プロフィール

平成10年4月横浜市立大学付属浦舟病院 研修医  
平成12年4月藤沢市民病院 消化器内科  
平成15年4月神奈川県立がんセンター 消化器内科

### 所属学会

日本内科学会，日本消化器病学会，日本消化器内視鏡学会，  
日本癌学会，日本癌治療学会，ASCO（米国癌治療学会），  
日本臨床腫瘍学会（評議員），日本膵臓学会専門医，  
日本内科学会（指導医），がん薬物療法専門医・指導医，  
日本消化器病学会（指導医），がん治療認定医，  
日本消化器内視鏡学会（指導医），日本肝臓学会



**日時：平成30年10月16日(火)18時～19時**

**場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室**

司会：高木忠之先生（消化器内科学講座）

**参加無料／事前登録不要**

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
  - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
  - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp  
【次回予定】平成30年11月20日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室  
(講師)昭和大学 腫瘍内科学講座 教授 角田 卓也(つのだたくや)先生